

### 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「車椅子の子どもがいる親のためのガイドブック」 更新版発行事業
事業主体 (連絡先)	えんがわ 大久保 千鶴 (090-2213-5716)
事業区分	①地域協働推進事業 ②保健・医療・福祉の充実、 ク. 子育て支援 カ. 障がい者・若者・女性の雇用促進
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,110,000 円 (うち支援金: 1,556,000 円)

#### 事業内容

ガイドブックの更新発行により、さらに広範囲へ周知し、ノーマライゼーションの促進を進めます。本事業をモデルケースとした多様な雇用形態は、重い障害を抱える子の保護者でも収入を得られる貴重な方法です。手助けとなるよう今後も同形態をデザイン会社に継続依頼します。初版のガイドブックをきっかけに親子グループ、学校の校外学習、福祉施設の外出支援などでの団体での利用も増え、経済効果も高まっています。更新版で新しい情報を載せてさらに加速させます。更新版より問い合わせ窓口をえんがわの代表とガイドブック担当者の携帯電話とメールアドレスに変更しました。住所は自宅のため公開していません。

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①JR その他鉄道、バス、飛行機など公共交通機関の利用方法を掲載することにより、障がい児家族が利用しやすくなりました。各機関にも周知啓発の機会になりました。
- ②一般の方にも私たちの困難さを理解していただくと共に車椅子でもベビーカーでも入りやすいお店を知ってもらおうことを目的として、乳幼児の遊び場やフリーペーパーのラックにも設置してもらいました。
- ③パーキングパーミット制度はまだあまり認知されていません。介助ベッドに関してもその用途を知らない人がいます。車椅子利用者等が生活しやすい長野県となるよう一般向けに周知しました。
- ④本事業をモデルケースとした多様な雇用形態は他での広がりも感じており、ますます発展が期待されます。子どもに医ケアのあるお母さんもお子さんの入所中に活動するなど単発での働き方で関わっていただくことができました。ただ、出版物の制作にはMacの使用が必須であるため応募者は限られてしまいました。

※①～④について、今後さらに事業効果が高まってくると考えられます。



(活動写真)

【Web サイトとガイドブック】  
<http://kurumaisu-oyako.com>

#### 【目標・ねらい】

- ①障がい児家族への公共交通機関利用の促進と周知
- ②ノーマライゼーションの促進
- ③新しい制度や条例の周知
- ④障がい者や女性の雇用促進

#### ※自己評価 【B】

##### 【理由】

カ. 以外はAです。  
カ. に関しては聞き取りの仕事をしてくれる女性の応募はあったものの、Mac を使用してデザインを学んだことのある障がい者が少ないのか、前回の登録者以外の応募がなかったため、B としました。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後、冊子としての発行は一旦お休みし、1号目と2号目を活用しての周知と啓発活動を行っていきます。Webは今後も継続更新し、新しい情報を紹介していくことで障がい者家族の外出促進に繋がりたいと思います。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある